TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB

東京中央新ロータリークラブ週報

例会日　毎週月曜日(12：30～13：30)　　会　場　帝国ホテル及びオンライン
会　長　山下　江　　幹　事　福元　智子
事務局　〒104-0061　中央区銀座8-11-12　正金ビル2F
TEL 03-5537-0270　FAX 03-5537-0271　https://tokyochuo-new-rc.jp

2022-23年度　国際ロータリーテーマ　「イマジン ロータリー」

例会報告　第861回　2022年10月3日(月)　ハイブリッド例会

出席率 57.14%　出席+接続会員数28名+メーキャップ0名
(正会員58名-休会9名)

山下江会長　点鐘挨拶

- こんにちは。油断はできませんが、コロナもだいぶ収まってきたようですね。石原会員、宮下会員、久しぶりのリアル例会ご参加、ありがとうございます。
- さて、今月は、米山月間です。今日は、地区から米山記念奨学委員会の遠藤副委員長が卓話に来られています。後ほど、よろしくお願いします。また、偶然ですが、私の知り合いであるカルロさんがゲストとして参加していただいていますが、元米山奨学生ということで、のちほど、ご挨拶をお願いします。
- 私の年度も3か月、4分の1が経過し、最初からコロナに見舞われましたが、地域社会奉仕委員会の銀座花壇プロジェクト(9月16日)、地区補助金事業であるキープママスマイリングへのマットレス20個寄贈、そして、国際奉仕委員会はインドの貧困な女児支援プロジェクトをインドのロータリークラブと共同で進める準備を行うなど、奉仕活動が順調に進んでおります。
- また、この例会を毎回準備してくださっているSAA委員会や会員増強委員会などクラブ奉仕、そして、職業奉仕、青少年奉仕も、各委員会を中心にした活動に感謝しております。今後とも、みなさまのご協力をお願いします。
- 最後に、7月以降翌月の予定・プログラムをメールにて配布させていただいてきました。10月分は遅れましたので、本日配布させていただきます。ご確認ください。

それでは第861回例会を開催致します。

ロータリーソング
(ソングリーダー：野呂洋子会員)

「それでこそロータリー」

卓話者・ゲスト発表(圓井順子SAA委員)

ハイブリッド例会にようこそご参加下さいました。
本日のゲスト　3名です。

- 第2750地区　米山記念奨学委員会　副委員長
  遠藤美香　様
- 山下会長ゲスト(元米山奨学生)
  カルロ　ラポルタ　様
- 井関会員ゲスト　プリンセス　レイコ　様

10月のハッピーバースデイ

川上鉄太郎会員(7日生れ)

ひよこ会報告(福元智子幹事)

9月15日コンペの賞品授与(野呂洋子会員、圓井順子会員、宮下文夫会員)

幹事報告(福元智子幹事)

11月7日例会は年次総会になります。次期会長役員選出承認の予定です。

元米山奨学生　日本語によるご挨拶(ゲスト　カルロラポルタ様)

私は元米山奨学生です。イタリア生まれのフランスとのハーフで二重国籍です。

日本に来て23年です。伊丹空港から6ヵ月間留学でしたが伸びました。日本で大学へ行ける、英語の先生で教えることもできるとロータリー留学生になり、毎月寒川ロータリークラブ(神奈川県)に出席し、いろんなところへ誘っていただきました。

その後日本の会社に就職し、社内のいろいろな人材のモチベーションを高める策を社長にアピールする仕事をしています。

にこにこ

山下　江 会長	地区米山委員会から遠藤副委員長、本日はありがとうございます。 卓話宜しくお願いします。
井関和美 会員	今日はコメルミー公認マドレーヌ大使のプリンセスレイコさんをご紹介できて嬉しいのでニコニコします。
大盛敬子 会員	このところ、夏日の様でした、季節の変わり目、御身大切にご慈愛下さいませ、ニコニコします。
岡田敏江 会員	遠藤美香さん、本日はお忙しい中ありがとうございます。嬉しくてニコニコします。
中里妃沙子 会員	何はなくてもニコニコ!
野呂洋子 会員	さわやかな秋ですね。 今週金曜から画廊で展示会が始まり、週末は栃木国体に参加します。 芸術とスポーツの秋が本格的に到来です。

にこにこ合計 14,000円

卓話

「米山記念奨学事業と米山梅吉翁」

米山記念奨学委員会　第2750地区
米山記念奨学委員会
副委員長　遠藤 美香　様

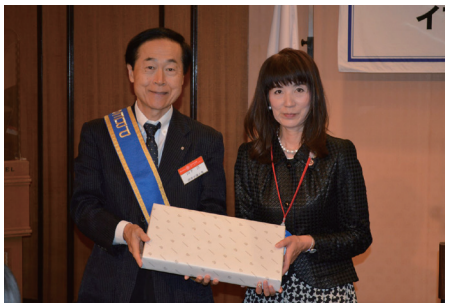
（ご紹介／岡田敏江会員）
地区米山奨学委員会では、年一度の米山留学生と一泊研修旅行を行っていますが、2018年は広島へ参りまして、原爆資料館・宮島・マツダ自動車工場見学などに廻りましたが、そのとき責任者だった美香さんの引率が素晴らしかったのを覚えています。
今日は楽しみにしております。

（卓話）

- 毎年10月は米山月間として、米山記念奨学会の米山留学生支援の活動の広報を行っています。
  米山記念奨学財団の活動目的
  日本に来ている外国人留学生に奨学金を提供し、ロータリーの目的そのままの人材育成と国際親善と、平和の実現を目指しています。
  奨学事業のスタート
  1949年　日本のロータリーが大戦中脱退していた国際ロータリーに復帰
  1952年　東京RCの古澤丈作会長の提唱で、東京RCにおいて初代会長だった米山梅吉翁を記念して外国人留学生に奨学金を支給して支援し、日本と母国との懸け橋となることを期待する活動を開始。
- 米山梅吉翁の来歴・人物・ロータリークラブ
  米山梅吉氏（1868-1946）とは
  東京・芝田村町生まれ。19歳で渡米、帰国後は三井銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島貴三次氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。24年には日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任。晩年は三井報恩会を通じて社会・文化事業を支援したり、私財を投じて小学校（現·青山学院初等部）を設立し、教育にも献身しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは梅吉氏の願いでもあり、生涯そのものでした。
- 米山奨学事業の特長
  ロータリー米山記念奨学事業とは？
  日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。
  （事業の使命）
  将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。
  なぜ、外国人留学生を支援するのか？
  この事業は1952年、東京ロータリークラブ（RC）が発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい―。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。
  ロータリー米山記念奨学金の特長
  交流を重視しています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。
  奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。
  POINT1　世話クラブ・カウンセラー制度
  奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。
  POINT2　民間最大の国際奨学事業
  2022学年度の奨学生数は898人、事業費は14億5千万円（2021-22年度決算）と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,875人（2022年7月現在）、その出身国は世界129の国と地域に及びます。

ご清聴ありがとうございました。

（要約文責　宮下）



前期週報原稿分担委員
宮下文夫・芝伸子・山田桂子・西村美寿穂
（協力委員）野呂洋子・諏訪智美・上田美帆